

シモネッタの
どこまでいっても

男と女

田丸公美子

シモネッタの
どこまでいっても
男と女

田丸公美子

シモネッタのどこまでいつても男と女

おとし おんな

第一刷発行 二〇一四年四月十四日

著 者 田丸公美子

たまるくみこ

発行者 鈴木哲

発行所 株式会社 講談社



〒一〇一八〇〇一 東京都文京区音羽二一 一一二二
電話 出版部 〇三―五三九五―三五〇二

販売部 〇三―五三九五―三六二二

業務部 〇三―五三九五―三六一五

印刷所 慶昌堂印刷株式会社

製本所 島田製本株式会社

© KUMIKO TAMARU

2014, Printed in Japan

ISBN978-4-06-218876-0 N.D.C.913 256p 20cm

定価はカバーに表示しております。落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせは、小説現代出版部宛にお願いいたします。本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

田丸公美子（たまる・くみこ）

広島県出身。東京外国語大学イタリア語学科卒業。イタリア語同時通訳の第一人者であり、エッセイスト。大学在学中から来日イタリア人のガイドを始めた。著書に『バーネ・アモーレ―イタリア語通訳奮闘記』『シモネッタのデカメロン イタリア的恋愛のススメ』『目からハム シモネッタのイタリア人間喜劇』『シモネッタの本能三昧 イタリア紀行』『シモネッタのドラゴン姥桜』『シモネッタの男と女』『イタリア語通訳狂想曲 シモネッタのアマルコルド』などがある。軽妙で味わい深いエッセイのファンは多い。

シモネッタのどこまでいつでも男と女

目次



とかく夫婦はままならぬ

09

暑かつたからよ

10

姫から博徒ばくとの妻に

13

虎の前妻、狼の後妻

27

女賢さかしゆうして牛売りそこなう

40

牡牛と夫は故郷から

44

戦う人と旅する人

46

最高の御利益ごりやく

48

オレオレに教えられ

51

とかくこの世はままならぬ

55

男と女の仁義なき戦い

目が見ぬ限り、心は平安

妻の鑑 かがみ砕に せかれ

コロッケとトラウマ

あばずれの息子

あこぎ、すりこぎ、嫁いびり

役に立たない息子

四番目の猿

狂った性器末？

主人に聞いてから……

とかくあの世も生きにくい

平和とパンツ

祖母のおっぱい

人間万事塞翁が馬 さいわう うま

3

波瀾万丈な父母の人生

人には添うてみよ

逃した魚は大きい

たらちねの母が乳房を失う日

八月六日の誕生日プレゼント

えこひいきはケガのもと

ハガネの心をもつ女、姑シズ

シモネッタの忘れえぬ男たち

147

目は口ほどにモノを言い

148

めくるめく官能——シモネッタの初ワイン

152

騎士は食わねど高楊枝

156

この世にたつたひとつの名前

165

炎のラブレター

203

あとがき

240

シモネッタのどこまでいつでも男と女

目次



とかく夫婦はままならぬ

暑かつたからよ

姫から博徒ばくとの妻に

虎の前妻、狼の後妻

女賢さかしゆうして牛売りそこなう

牡牛と夫は故郷から

戦う人と旅する人

最高の御利益ごりやく

オレオレに教えられ

とかくこの世はままならぬ

男と女の仁義なき戦い

目が見ぬ限り、心は平安

妻の鑑 かがみ砕に せかれ

コロッケとトラウマ

あばずれの息子

あこぎ、すりこぎ、嫁いびり

役に立たない息子

四番目の猿

狂った性器末？

主人に聞いてから……

とかくあの世も生きにくい

平和とパンツ

祖母のおっぱい

人間万事塞翁が馬 さいわう うま

57

58

62

64

67

70

73

75

77

79

82

85

88

90

92

3

波瀾万丈な父母の人生

人には添うてみよ

逃した魚は大きい

たらちねの母が乳房を失う日

八月六日の誕生日プレゼント

えこひいきはケガのもと

ハガネの心をもつ女、姑シズ

シモネッタの忘れえぬ男たち

147

目は口ほどにモノを言い

148

めくるめく官能——シモネッタの初ワイン

152

騎士は食わねど高楊枝

156

この世にたつたひとつの名前

165

炎のラブレター

203

あとがき

240

シモネッタのどこまでいつでも男と女

とかく夫婦はままならぬ

